ファクトシート　ガーナ

保健、栄養および医療サービスのための デジタル・ソリューション・プロジェクト

国名：ガーナ

プロジェクト名：保健、栄養および医療サービスのためのデジタル・ソリューション・プロジェクト

実施期間：2021 年 10 月～2023 年 9 月

パートナーシップ：保健省、ガーナ保健サービス、国際協力機構（JICA）、日本の民間セクター

予算：436 万 5,574.62 米ドル

開発課題

ガーナでは、保健医療の質を向上させるためのデジタル・ソリューションが取り入れられています。しかし、全国展開するにはインフラへの大規模な投資に加え、人材の能力開発が必要です。また、政策立案やサービス提供の指針となる分析の実施も課題となっています。

保健医療人材は充実しており、公平に配置され、有能かつ反応が早く生産性の高いスタッフを十分に擁することも、強力な保健システムを構成する主要な要素となっています。保健省とそのサービス提供機関は、意思決定や政策を通知するうえで正確かつ完全な人材データに依存しています。ただ、タイムリーで信頼できるデータを入手することは、このセクターにとって引き続き課題であり、国内の公平な人材配置、医療従事者の採用、インセンティブ、訓練や予算編成に関する不適切な判断につながっています。

目的

このプロジェクトの主な目的は、より良いサービスの提供と意思決定のために、デジタル技術を活用して保健および HRH（保健医療人材）データの収集、分析、活用と管理を改善・向上し、最適な健康に向けて受益者の行動変容を実現しつつ、健康増進と一般疾病の早期発見・診断を強化することです。また、比較優位に基づいて影響を最大化するために、民間部門と協力して、コミュニティでの健康診断から革新的な診断への照会リンクを確立することを目指します。

プロジェクトの成果

成果 1：タブレット端末を使った電子トラッカー（eTracker）を国および地方レベルで配備し、規模を拡大すること

成果 2：マルチダッシュボードやデータに基づいたインサイト、AI といった NEC のソリューションを用いて強化された国家保健医療情報管理システム（DHIMS2）において、ガーナの医療データを分析および活用すること

成果 3：NEC、味の素ファンデーション（TAF）およびシスメックスとの協力の下、ガーナの健康増進と、非感染症疾患（NCDs）、マラリア、栄養不良および貧血の早期発見・診断を強化し、最適な健康の維持に向けて受益者の行動変容を実現すること

成果 4：人材情報管理システム（HRIMS）の状況分析を実施し、統合された HRIMS のためのソリューションを試験運用し、保健のデジタル化に関する政策対話を開催すること

SDGs への貢献

このプロジェクトは、SDGs の目標 3 および 17 に貢献します。